

明道新聞

令和六年度
7月30日発行
明道中学校
生徒会執行部

七月二十日(土)に、県庁のお堀で福井城址お堀の灯りが行われ、生徒会執行部が式典に参加しました。当日は、実行委員五人を交えた計十人で準備をしました。今回は、生徒会テーマの結の形に皆さんのとうろうを置きました。会場にはお堀の中の鎮魂の灯りや、明道中以外の回体のとうろうがありました。



今年で十五回目を迎
えるこのイベントは、一
九四五年に起こった福
井空襲と、一九四八年に
起こった福井震災で亡
くなつた人々を鎮魂し、
市民全員で福井のまち
づくりを推進するため
に生まれました。これら
は亡くなつた方に鎮魂
の意を捧げる鎮魂の灯
りと、子供達が将来の希
望を願つて作る希望の
灯りの二つで構成され
ていました。僕は、式典
に参加すること、当時



お知らせ
八月四日(日)十六時か
ら、田原町商店街祭り
で、ユニセフ募金を行いま
す。あと二万円、で箱の中
の学校を二つ購入でき
ます。皆さんのご協力、よ
ろしくお願ひします！

お知らせ



ドローンで撮った上空写真



皆さんののおかげで、みんなの希望にあふれたとうろうの結になり、地域と結びつくことができた。協力してくださった生徒・実行委員の皆さん、ありがとうございました。

真

